窓際1メートルにシジュウカラ

自宅で野鳥観察

住 LIVING

愛らしく飛び回る野鳥を自宅で観察できれば、潤いのある暮らしになりそうだ。昆虫などの餌が乏しくなる冬は、自宅に野鳥を招きやすい季節。餌や水場の準備など、心得を専門家に聞いた。

「あ、来た来た。おいしい？　かわいいね」

東京都小金井市の福井俊一さん(76)、美代子さん(73)夫妻は、リビング前の庭に飛来したシジュウカラに、窓ガラス越しに呼びかけた。約5平方㍍の庭には、砕いたピーナツなどが入る給餌器（フィーダー）が下げてある。夢中で食べるシジュウカラをコーヒーを飲みつつ観察する。福井さん夫妻は野外での野鳥撮影が趣味だが、自宅なら愛鳥から1㍍ほどの近さで観察できる。「また違った楽しみです」。メジロ、ウグイスのほかシロハラ、アオジも来る。11～3月の楽しみだ。

●まず水浴び場作り

どうやって野鳥を呼べばいいのか。野鳥写真家の叶内拓哉さんがまず勧めるのが水浴び場作りだ。鳥の羽毛は体温を保つ大切な役割を担う。汚れや寄生虫を取り除くのに水浴びは欠かせない。水浴び場はお皿や植木鉢の受け皿など何でもよい。砂利を敷いてやり、水は深さ1～2㌢程度に張る。水浴び場だけでも野鳥はやってくる。

次は餌台だ。高さ約1・5㍍の支柱に30～40㌢四方の板を打ち付けるだけだ。ベランダなら床や台の上に板を置く。

餌はアワ、ヒエなど穀物が定番。殻つきピーナツはシジュウカラの好物だ。ミカンはヒヨドリやメジロ、リンゴはムクドリが食べる。ラードは多くの鳥が好む。小麦粉、砂糖に溶かしたラードを混ぜて練り上げた「バードケーキ」を松ぼっくりの隙間に詰めてつるすと、大型の鳥に横取りされず小鳥が食べられる。

●猫に気をつけて

気をつけたいのは猫だ。野鳥を襲うので餌台は地上から1㍍以上の高さに、茂みなど猫が身をひそめられる場所から離そう。叶内さんは「鳥は目ざとく餌を探して来る。窓ガラスをつついて催促することもある。毎年来るように」と話す。餌を与えるのは冬だけにしたい。春から秋は昆虫などが豊富なため、餌付けは生態系を乱すからだ。

集合住宅に野鳥を呼ぶ場合は細心の注意が必要だ。鳥がフンをまき散らして階下の洗濯物が汚れたり、シジュウカラがヒマワリの種を別の場所で食べて殻を捨てたり、果物を食べた野鳥が液状のフンをしたりすることもある。近所迷惑にならないか常に気配りし、自宅や周辺の掃除をこまめにすることも大切だ。

鳥を呼ぶためのグッズはさまざまだ。バードウオッチングの専門店「Hobby's World（東京都千代田区）によると、給餌器ではペットボトルを再利用できる「リサイクルバードフィーダー」（1620円）が定番だ。鳥の食べる量に応じてペットボトルの大きさが変えられる。変わったところではワシの卵そっくりで、鳥のさえずりに似た音を出し野鳥を呼び寄せる「バードコール」（松永弦楽器工房製、1620円）も販売している。

日本鳥類保護連盟では庭や学校、公園、ビル、工場など都市の中で鳥がすみやすい環境を整えた「バードピア」の普及を提唱している。鳥のために緑の回廊を作ろうという発想だ。藤井幹事務局長は「鉢植えを1個置くことでもいいので、鳥に向かってやってほしい」と話す。家に鳥を呼ぶ先駆物が汚れたり、シジュウカラがヒマワリの種を別の場所で食べて殻を捨てたり、果物を食べた野鳥が液状のフンをしたりすることもある。近所迷惑にならないか常に気配りし、自宅や周辺の掃除をこまめにすることも大切だ。

鳥を呼ぶためのグッズはさまざまだ。バードウオッチングの専門店「Hobby's World（東京都千代田区）によると、給餌器ではペットボトルを再利用できる「リサイクルバードフィーダー」（1620円）が定番だ。鳥の食べる量に応じてペットボトルの大きさが変えられる。変わったところではワシの卵そっくりで、鳥のさえずりに似た音を出し野鳥を呼び寄せる「バードコール」（松永弦楽器工房製、1620円）も販売している。

日本鳥類保護連盟では庭や学校、公園、ビル、工場など都市の中で鳥がすみやすい環境を整えた「バードピア」の普及を提唱している。鳥のために緑の回廊を作ろうという発想だ。藤井幹事務局長は「鉢植えを1個置くことでもいいので、鳥に向かってやってほしい」と話す。家に鳥を呼ぶ先駆けとなるはずだ。

【斎藤義彦】

＝次回は「衣」、1月8日掲載

㊤㊦福井さんの自宅に来たウグイス㊧同じくシジュウビタキ―いずれも福井美代子さん撮影・提供 ㊨㊦野鳥の水浴び場㊧㊦つり下げたが餌場になっていた―いずれも日本鳥類保護連盟提供

㊤ペットボトルが再利用できる給餌器「リサイクルバードフィーダー」㊧㊦とんがり屋根のフィーダー―㊨㊦鳥のさえずりに似た音を出し野鳥を呼び寄せる「バードコール」＝いずれも東京都千代田区のHobby's Worldで